

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	Restructuring for Self Effective Turnning-Point. 「自己のために効果的な分岐点を再編成する」 ReSET Project事業		
法人名	学校法人フジ学園		
学校名	専門学校ITカレッジ沖縄		
代表者	理事長 玉城 政光	担当者 連絡先	屋宜 宣秀 TEL098-833-6715
<p>1. 事業の概要</p> <p>キャリアアップを図るために、今まで培ってきた能力を元に現在を効果的な分岐点として位置づけ再構築をおこなうことで、ネットワーク・セキュリティ・Webデザイン・プログラミング技術からデータベース構築・運用・管理、システム分析まで網羅する高い専門知識と技術を身につけさせるカリキュラムの作成をおこなう。少子化の影響で高校卒業者数が減少しているなかで、専門学校への進学率は上昇傾向にあり、現在では大学学部へ続く高卒者の進学先として定着しています。また、大学や短大を卒業して専門学校に入学する者も増加傾向にあります。また、就職しても3年を待たずして離職するものも多く、特に沖縄県では失業率も高い。</p> <p>その中、ネットワーク技術者の世界ではセキュリティの問題やOSS (OpenSauceSoftware (オープンソースソフトウェア)) に対する技術が必要不可欠になっており、また技術者の不足も問題化し育成も急務課題であります。</p> <p>このプロジェクトでは、ユビキタス学習環境の構築を目指し、USBメモリー起動をするOSSを活用して、何処でも学習できる環境の構築をおこなうことで学習意欲を高めることができるとともに継続した学習環境を提供することができる。また卒業後もネットワーク環境を活用して学習が進められるメリットもある。</p> <p>上記のプログラムの導入で、早期離職者の学習意欲を高めると共に、OSSの知識や技術力のスキルアップを効率的におこなうことができる。</p> <p>また定期的なカウンセリングの実施により、特に早期離職のケアや、またネットワークを活用することで、何処でも、いつでも「学び直し」が出来る環境を提供する。</p> <p>ネットワーク技術だけではなく、ビジネスマナーや経営に関する知識を習得することで、システムエンジニアからその上級職であるシステムインテグレータを目指す。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>事業の実施講座について、11名で開始し予定講座を全て実施修了した。実施講座と平行して沖縄県内のIT系企業へ研修を行った。また、あわせて開発した携帯プレイヤー (ipodを活用したVOD教材) について、実施した講座 (映像データ) 24ファイルをサーバーへアップロードし、復習教材として活用できる環境を構築し、実際に受講生へ提供の上検証してもらうことができた。以上のことから、事業の目的として重点においた、①技術者の育成と②VOD教材の開発について目的を達成したことを報告する。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>成果として①技術者の育成については、実施講座を終了後、2名が研修先のIT系企業へそのまま採用となり、さらに3名が採用を前提とした更なる企業研修に参加しており、そのまま採用の可能性もある。このことは、今回事業の大きな成果であると方向する。また、VOD復習教材については、受講生アンケート (別紙) から、35名/42名中 (回答累計) の方が復習に役立ったと回答しており、充分活用できる教材を開発したと言える。</p>			

③今後の活用

VOD復習教材については、実施校である専門学校ITカレッジ沖縄で、平成20年度事業の教材として活用を検討している。あわせて実施した講座内容は、社会人(再就職を目指す)向けの講座としては勿論、専門学校内のIT技術者を目指す学生にも活用できると見込んでおり、今回のOSSの内容をとり入れた講座を検討中である。

④次年度以降における課題・展開

今回の事業の課題として、IT系企業についてもデュアルシステムを活用するケースが増えており、今回の講座内容も企業と連携したデュアルシステムに組み込んだ教材内容にすることもひとつの課題として取り上げられた。また、今回の事業では技術スキルを中心に講座を行ってきたが、コミュニケーションスキルや、職業観についての調査研究、また、IT業界への人気は落ちていることから、IT系企業の将来性を伝える内容を取り入れた事業にすることなどが今後は課題となる。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

別紙企業ニーズ報告書をご覧ください。

②カリキュラムの開発

別紙事業報告書の4.実施経緯をご覧ください。

③実証講座

別紙事業報告書の5.実施講座および事業報告書の9.受講者アンケートをご覧ください。

④その他

今回の事業について、特に実施講座では技術スキルについてのカリキュラムが中心を占めたが、終了間際の2講座では、受講生が学んだアパッチサーバー構築を主題にとり、各自が発表する機会を作ることで、プレゼン能力の重要性を体験してもらった。また、データセンターを見学研修することで、実際の企業におけるネットワーク管理者やその業界の内容を体験してもらうことができた。